

1. 略歴

- 1988年3月 東京大学文学部中国哲学専修課程卒業
- 1990年3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程（中国哲学専攻）修了
- 1991年8月 東京大学大学院人文科学研究科第一種博士課程（中国哲学専攻）中退
- 1991年9月 京都大学人文科学研究所助手
- 1997年4月 千葉大学文学部助教授
- 2003年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
- 2007年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授
- 2015年4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

中国思想、道教、中国医学

b 研究課題

- (1) 道教思想、道教史の解明
- (2) 道教と中国医学の関係史
- (3) 儒・仏・道の三教交渉史を中心とする中国思想史

c 概要と自己評価

研究の中心は道教であるが、道教と中国仏教との関係、および儒・仏・道の三教の影響関係からみた中国思想史についても考察を進めている。三教についてはこれまで道・仏の関係を論じることが多く、とくに道教の内丹説と仏教とのかかわり方について多角的な考察を行ってきたが、三教みつどもえの関係についてはあまり論ずることができなかったため、本期間では新たに儒教知識人の考える仏教・道教関係などについても考察を試みた。また道教に関しては根本資料の「道蔵」に対する科研プロジェクトの調査と研究を一層推し進めた。さらに道教と中国医学、およびアジア医学との関係の研究にも着手し、アジア医学研究者たちと科学研究費補助金によるプロジェクトを新たに立ち上げた。

d 主要業績

(1) 編著書

横手裕、『宮内庁書陵部所蔵道蔵経目録稿』、科学研究費補助金研究成果報告書、2019.11、全305頁

横手裕、『宮内庁書陵部所蔵道蔵を中心とする明版道蔵の調査と研究』、科学研究費補助金研究成果報告書、2020.2、全262頁

(2) 書評

横手裕、吉元昭治著『道教医学——東洋思想の淵源を学ぶ——』、『日本醫史學雑誌』第65巻第3号（通巻1575号）、日本医史学会、2019.9、pp.395-397

(3) 学会発表

国際、横手裕、「正統道蔵日本宮内庁本解謎」、「從《道蔵》到《道蔵輯要》：版本・流変与伝承」研討会、香港中文大学、2018.4.7

国内、横手裕、「身中の洞天福地説とその淵源」、シンポジウム「洞天思想の展開とベトナム・日本」、専修大学、2019.3.9

国際、横手裕、「日本未公開道蔵二種初探」、老子道文化国際学術研討会、中国・渦陽、2019.9.7

(4) 研究テーマ

科学研究費補助金、基盤研究（A）、横手裕、研究代表者、「宮内庁書陵部所蔵道蔵を中心とする明版道蔵の調査と研究」、2016～

科学研究費補助金、基盤研究（A）、横手裕、研究代表者、「アジアの伝統医学における医療・医学の倫理と行動規範、及びその思想的研究」、2019～

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

国際日本文化研究センター、研究員、2018.4～

京都大学人文科学研究所、研究員、2019.4～

(2) 学会

日本道教学会、理事、論文審査員、2018～

中国社会文化学会、理事、2018～

日本中国学会、論文審査委員、2018～